

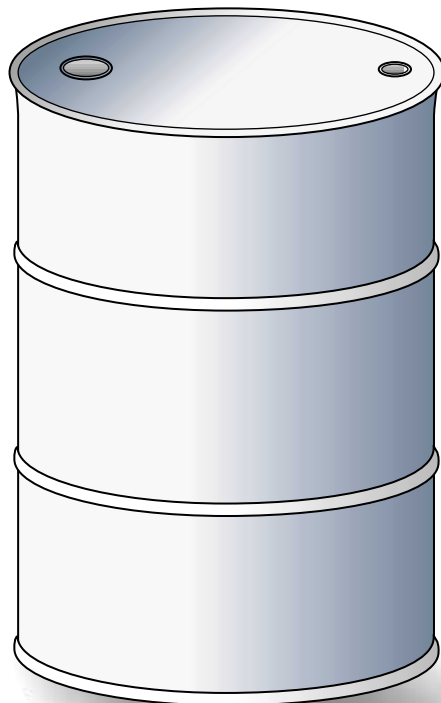


鋼製タイトヘッドドラム

(JISZ1601)

取扱上の注意

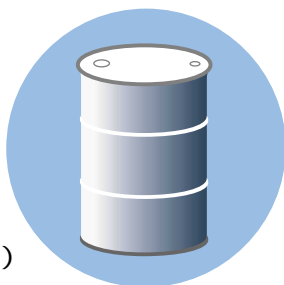
ここに示している注意事項は、
鋼製タイトヘッドドラムを正しくお使い頂き、
充填内容物の保護と取扱う人々への危害や損害を
未然に防止するためのものです。



ドラム缶工業会

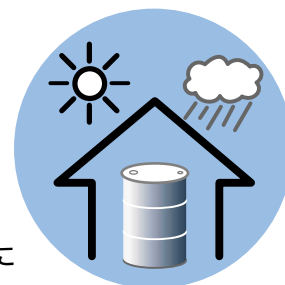
鋼製タイトヘッドドラム (JISZ1601)

1. 基本的要件



- (1) 内容物の性状に合った鋼製ドラム(以後ドラムという)を使用してください。
- (2) 内容物の改良品や新製品の場合は必ず実缶試験で確認後、ご使用ください。
従来品でも添加剤や不純物の変化によって腐食性が大きく変動することがあります。
- (3) 内容物によっては鋼板を腐食し漏洩する危険があります。特に腐食性のある内容物を充填される場合は、ドラムメーカーに問い合わせのうえご使用ください。
- (4) 内容物によっては危険物容器基準の関係法規(消防法、危険物船舶運送及び貯蔵規則、毒物及び劇物取締法等の収納、保管、運送に関する規定)をお確かめの上ご使用ください。
- (5) 輸出用として使用される場合は輸出先の廃棄物規制に適合するドラムをご使用ください。
- (6) 化成処理被膜(りん酸亜鉛とりん酸鉄)は塗装下地形成を主目的とする被膜であり、短時間の一次防錆効果はありますが耐錆性を目的としたものではありません。
- (7) 安全にご使用頂くために本来の目的以外には使用しないでください。
- (8) ドラムは圧力容器ではありません。ドラム内部に圧力をかけないで下さい。圧力をかけると破裂することがあります。
- (9) 巻締め部を落下や突起物の衝撃により極端な変形やすり疵をつけると巻締め部が破損し漏洩の恐れがありますので、取扱いにご注意ください。
- (10) 取扱には保護手袋を使用してください。

2. 空缶時の保管



- (1) 保管は原則として屋内保管してください。屋外に保管する場合、天板に雨水等がたまり、昼夜の温度差等により口金から吸水する恐れがあります。また、発錆することがあります。やむを得ず、ドラムを屋外に保管する場合、天板にキャップをかぶせるかもしくは、天板が上にならないようにしてください。また天板を下にする場合でも地面の水溜まりより吸水することがあるのでご注意ください。
- (2) 高温多湿や酸や塩分等の腐食性のある環境下での保管はドラムの劣化を早めるおそれがあります。
- (3) 温度差のある条件下で保管した場合、ドラム内の空気中の水分が結露し、ドラム内面の錆発生の原因となることがあります。また、結露水が内容物に混入する恐れもあります。屋内保管でも納入後1ヶ月以内のご使用をお願いします。
- (4) 俵積(横積)で保管する場合は適切な転がり止めを使用してください。
- (5) 充填時以外にプラグを開放したままにしますと、ドラム内に異物が混入し缶内を汚染するだけでなく、湿った空気が混入しドラム内で結露が発生しやすくなりますので注意が必要です。
- (6) 内面塗装ドラムは特に変形にご注意ください。変形の度合いによっては内面塗膜が剥離するおそれがあります。
- (7) クロームメッキ製のフランジ(口金)は加工によるクラックの影響で錆び易いため、この仕様を有するドラムの屋外及び高温多湿場所での保管はお止めください。

3. 充填時・充填後保管及び抜き取り時



- (1) プラグの開閉には、専用の器具を使用して**充填後は適切なトルク値で締め付けてください。**
- (2) 容器への収納は関係法令の規定(消防法・危規則、船舶による危険物の運送基準等を定める告示、毒劇物取締法小型運搬容器の基準等)により、必ずドラム内には内容物に応じた空隙量や収納方法を確保してください。
- (3) 充填時及び取り出し時は内容物を天板上にこぼさないようにして下さい。内容物により塗膜の剥離や表示マーク等が消えることがあります。
- (4) 高温の内容物を充填した場合は、出来るだけ内容物が常温に下がってからプラグの本締めを行って下さい。高温充填後直ぐに密栓しますと、バキューム現象により、ドラムが変形したり、外気水分吸入の原因となります。特にプラグのガスケットがポリエチレン製の場合は、軟化変形してプラグが緩み漏洩するおそれがあります。
- (5) 充填済みのドラムの移動には、怪我、腰痛及びドラムの変形、疵、破損、漏洩に注意し、できるだけリフター、フォークリフト等をご使用ください。
- (6) **保管は原則として屋内保管してください。**屋外に保管した場合、天板に雨水等がたまり口金から吸水する恐れがあります。また、発錆することがあります。やむを得ず、ドラムを屋外に保管する場合、天板にキャップをかぶせる等防水対策をしてください。また、天板を下にする場合は地面の水溜りや水はけにご注意ください。
- (7) 天(地)板が屋外で長期間(およそ3ヶ月)にわたり乾湿を繰り返されると外装塗膜が劣化し膨れや剥離が発生します。また、鉄製キャップシールがある場合端部の発錆が天板のもらい錆の原因ともなりますの

で注意してください。特に酸性雨や海岸近くでは注意が必要です。

(8) 屋外での長期間にわたる保管は直射日光や寒暖差の影響により内容物の品質に悪影響をおよぼしますので避けてください。特に内面塗装ドラムでは内容物により塗膜が劣化し膨れや剥離等が発生するおそれがあります。

- (9) 低沸点物質を充填された場合、外気温が高温になるとドラム内が増圧になり天地板が膨張することもありますので注意してください。
- (10) 金属製のキャップ、キャップシール取り外し時は保護手袋と適切な治具を使用してください。金属端部で手を傷つける恐れがあります。
- (11) **開栓時**天板にごみがありますと口金から内部に吸引されることがありますので**ごみを除去してから開栓してください。**
- (12) 内容物充填後のプラグ、キャップ開栓時には、内圧による内容物の飛散にご注意ください。
- (13) 内容物取り出しの際ドラムを加熱すると内容物の噴出やドラム内面の化成被膜や塗膜を劣化させ内容物の品質に変化を及ぼすおそれがあります。直火は厳禁です。
- (14) 使用後のドラムを密閉したまま加熱したり切断したりすると、異常内圧上昇により破裂したり、局部から内容物の噴出等を起こすことがありますので行わないで下さい。万が一必要な場合は、内容物を完全に除去し、ドラム内を洗浄し、ドラム内の残留蒸気を窒素ガス等の不活性ガスで置換した上、開栓状態にて行って下さい。
- (15) 使用済みドラムを廃棄する時は内容物を抜いて内部を洗浄後関連法令(廃棄物処理法等)に従い廃棄してください。



<http://www.jsda.gr.jp>



ドラム缶工業会

〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町3-2-10(鉄鋼会館6階)

TEL. 03-3669-5141 FAX. 03-3669-2969

e-mail: drum.pail@jsda.gr.jp

ドラム缶(200L及び中小型缶)メーカー会員会社

斎藤ドラム缶工業株式会社
山陽ドラム缶工業株式会社
JEF協和容器株式会社
JFEコンテナ株式会社
株式会社ジャパンペール
ダイカン株式会社
株式会社東京ドラム罐製作所
東邦シートフレーム株式会社
日鐵ドラム株式会社
森島金属工業株式会社
株式会社山本工作所